令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立下新庄小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	東淀川区
学　校　名	大阪市立下新庄小学校
学 校 長 名	前木場　篤

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立下新庄小学校では、第６学年　53名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立下新庄小学校の結果概要

平均正答率は 国語科では65%（8.4問 / 13問）であり、大阪市公立平均（59%）および全国公立平均（60.9%）を上回った。令和7年度（75%）に引き続き、全国・市平均を超える学力水準を維持している。算数科では63%（10.1問 / 16問）であり、大阪市公立平均（56%）および全国公立平均（56.4%）を上回った。令和7年度（68%）と同様に、全国・市平均を超える定着を示している。質問紙調査においては、令和7年度調査で顕著であった自己肯定感（「自分にはよいところがある」）や規範意識（「いじめはいけない」）、貢献意識（「人の役に立ちたい」）の安定した基盤を維持しつつ、自律的な学習姿勢の向上に取り組んでいる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】「読むこと」領域の正答率は 74.5%（全国65.9%）と高い水準であり、文章を読んだうえで自分の考えを体験と結び付けてまとめる記述問題では 84.9%（全国76.4%）を記録している。記述式全体の正答率も 65.1%（全国54.9%）と高く、思考力・表現力がしっかりと身についている。しかし「情報の扱い方に関する事項」の正答率は 52.8%（全国52.3%）にとどまり、「読むこと」や「話すこと・聞くこと」（67.9%）に比べて低い水準で、文章全体の構成や工夫を捉える問題も50.9%（全国57.9%）と全国平均を下回っており情報の扱いに関してや文章構造の理解には課題が見られる。【算数】「測定」領域88.5%（全国78.1%）「数と計算」は69.0%（全国61.1%）「図形」は 63.9%（全国55.3%）、また記述式問題は 59.6%（全国48.5%）であり、集計の誤りを根拠とともに説明する問題でも 67.3%（全国56.2%）と、理由や根拠を文字や式で表現する力でも高い成果を上げている。しかし、単位量あたりの大きさ、割合や比較の概念理解、体積に関しても機械的計算はできるものの概念の意味理解には課題がある。

質問調査より

高い自己肯定感（「自分に良いところがある」57.1%）教員との信頼関係（「先生が認めてくれている」80.4%）が育まれており、否定されない学級風土（67.9%）や登校の安心感（「学校が楽しい」64.3%）、高い規範意識（「いじめ禁止」96.4%）、貢献意識（83.9%）が確立された点が大きな成果である。課題としては、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫する」児童の割合をさらに高め、主体的に学ぶ学習者を育てることが昨年度に引き続き継続的なとなっている。また平日の読書習慣（「全くしない」35.7%）や家庭学習習慣の定着も課題であることが顕著となっている。

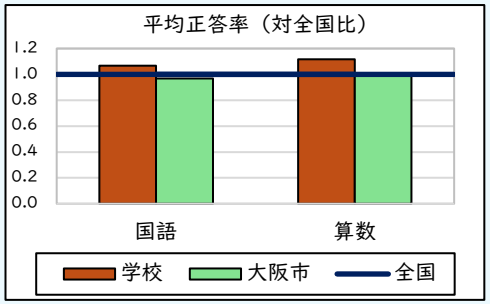
今後の取組（アクションプラン）

〇主体的な学びを育む授業改善と校内研究の推進…研究主題『「自ら学ぶ力を育む」～主体的・対話的で深い学びをめざして～』のもと、話し合い活動を通して自分の考えを深めたり広げたりする指導を継続・強化する。　〇ICT機器の文房具化と「個別最適な学び・協働的な学び」の実現…デジタル連絡帳をはじめとする端末の普段使いを定着させ、デジタルの力を活用して児童一人ひとりの学びの工夫や意見共有を支援する。　〇豊かな人間性を育む学校生活の充実…人権教育の推進、地域・ゲストティーチャーとの連携、異学年交流や体験活動を通じて、学校生活を楽しみながら自他を尊重する心の育成をさらに推し進める。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

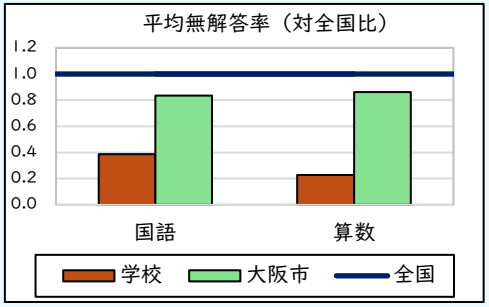
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	65	63
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



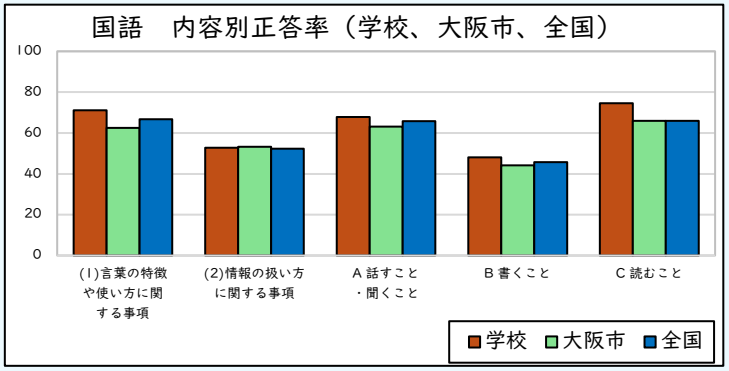
平均無解答率（%）

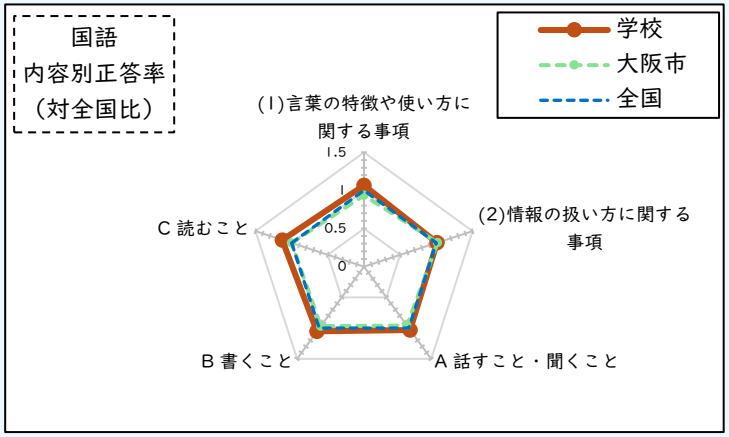
	国語	算数
学校	1.3	0.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

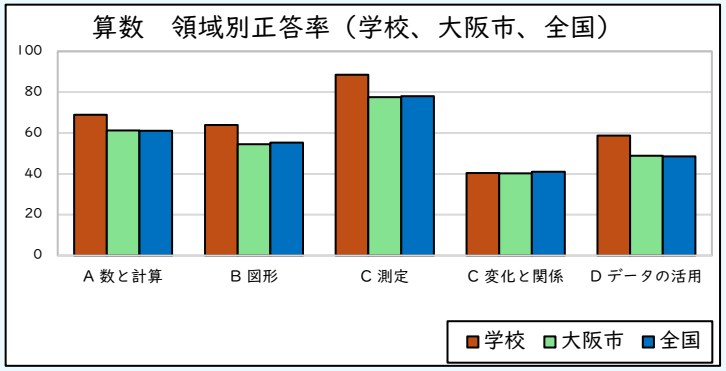
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	71.2	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	52.8	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	67.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	48.1	44.2	45.7
C 読むこと	2	74.5	66.0	65.9

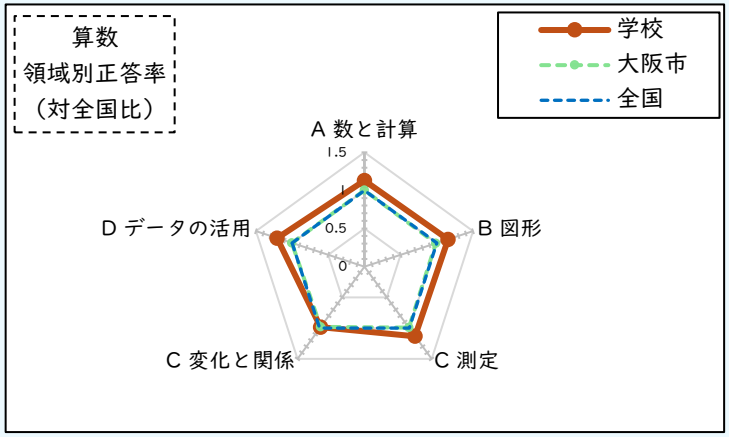




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	69.0	61.2	61.1
B 図形	4	63.9	54.5	55.3
C 測定	1	88.5	77.5	78.1
C 変化と関係	3	40.4	40.3	41.1
D データの活用	4	58.7	48.8	48.6



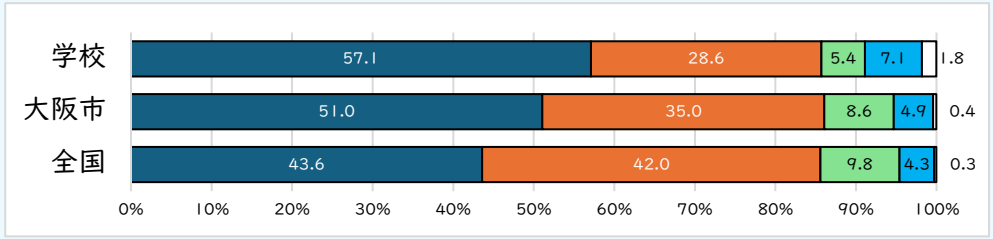


令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

質問番号　　質問事項

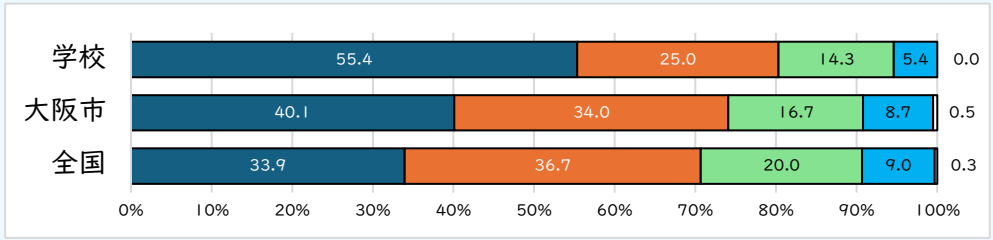
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

（８）自分には、よいところがあると思いますか



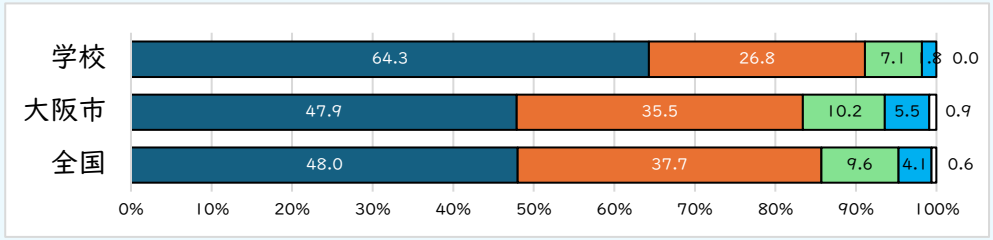
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

（１３）困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



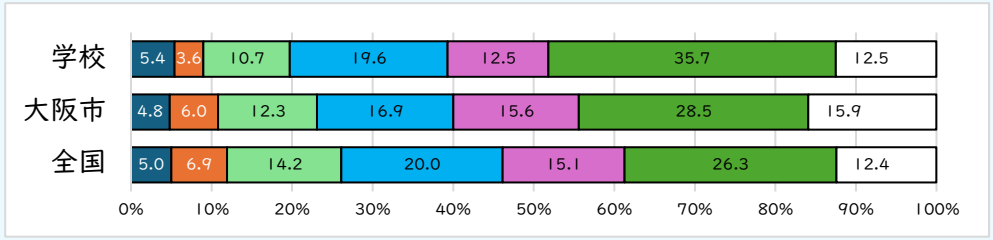
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

（１５）学校に行くのは楽しいと思いますか



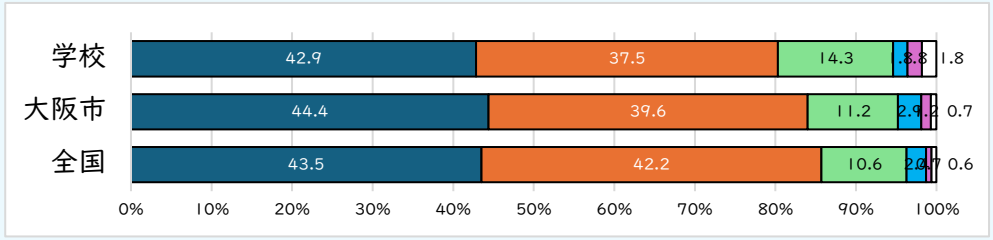
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

（２６）学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



1 ２時間以上
2 １時間以上、２時間より少ない
3 ３０分以上、１時間より少ない
4 １０分以上、３０分より少ない
5 １０分より少ない
6 全くしない

（４２）学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

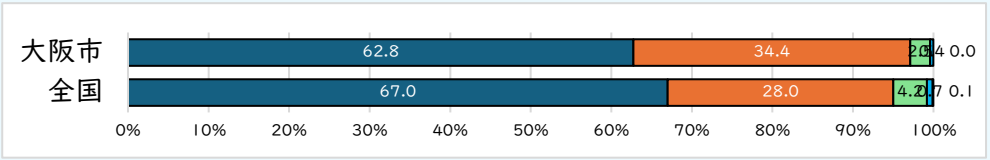
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

質問番号　　質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

（13）スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

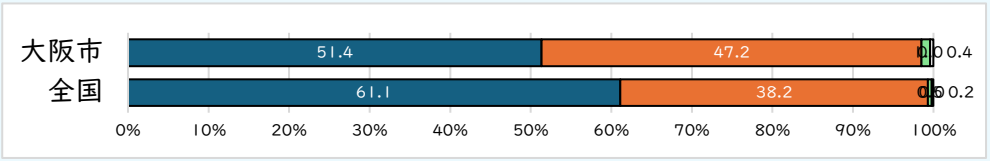
【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（19）学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

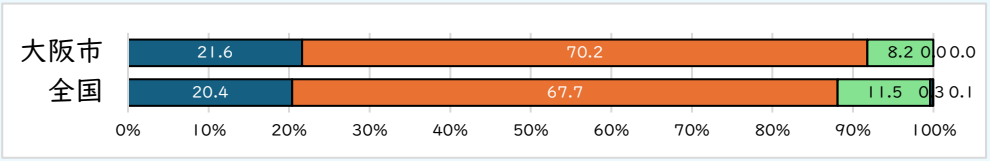
【学校の回答】　2　どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（26）調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

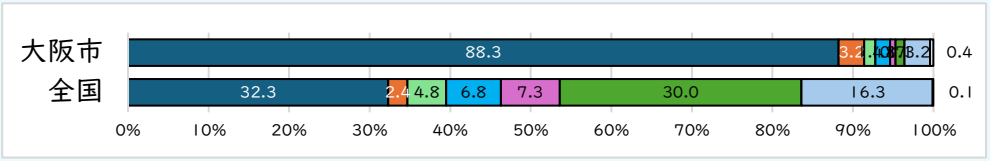
【学校の回答】　2　どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（70－5）児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（５）児童の心身の状況の把握

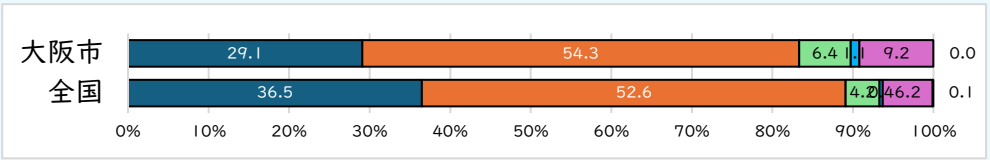
【学校の回答】　1　ほぼ毎日



1 ほぼ毎日
2 週３回以上
3 週１回以上
4 月１回以上
5 月１回未満
6 活用していない
7 該当する児童がいない

（79）コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか

【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない
5 取組を行わなかった